

広島東南ロータリークラブ

会長方針『みんなで作ろう素敵なクラブ』
～ロータリアンの煌めきが織りなす友情と奉仕の絆～

2026年4月20日（第2993回例会）

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111

事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894

会長 久保和浩 幹事 守下康弘

4月は「環境月間」です
4月ロータリーレート160円



本日の例会

- 12:30 点鐘
ロータリーソング「それでこそロータリー」
来客紹介 (親睦委員会)
会食
- 12:45 会長時間 (久保会長)
幹事報告 (守下幹事)
委員会報告
・出席報告 (出席担当)
・その他
同好会報告
S.A.A.
- 13:00 プログラム
- 13:30 点鐘

会長時間

- マルチプルポールハリスフェロー認証（3回目）
大井克元会員 山仲巖会員
- ポールハリスフェロー認証
平岡誠治会員 瀧川洋一会員 且壮之助会員

幹事報告

- 令和7年青森県東方沖地震に対する支援について
- 次週4/27は休会です

本日のプログラム

「環境に因んだ話」Slow & Polite 代表 秋山裕一様

次回例会(5月11日)

「青少年月間に因んだ話」 林 亮介会員

お知らせ



米山功労者 第3回マルチプル表彰
吉田範子会員



マルチプルポールハリスフェロー(1回目)認証
米山奨学生カウンセラー委嘱状
天野國幹会員

今後の予定

- 第32回第2710地区G杯親善野球大会 決勝戦
とき 4月25日(土)12:30～(VS:光RC)
ところ マツダスタジアム
- ★クラブリーダーシップ・ラーニングセミナー(対象者)
とき 4月26日(日)13:30～
ところ 会議 広島国際会議場
懇親会 ホテルグランヴィア広島
- 広島14RC合同懇親ゴルフ大会
とき 4月29日(水・祝)雨天決行
ところ 広島カンツリー倶楽部 西条コース
- ★第2710地区ローターアクト奉仕デー 中日戦
とき 5月2日(土)11:30～
ところ マツダスタジアム(広島市南区)周辺
- ★PHRC合同記念樹付近の清掃活動
とき 5月16日(土)10:00～13:00
ところ ひろしま美術館北側緑地帯
- ★本・次年度合同クラブアッセンブリー(対象者)
とき 5月18日(月)18:30～
ところ ANAクラウンプラザホテル広島 22階
- ★はメイクアップ対象事業です

例会出席報告

○2026年3月16日例会	○2026年4月6日例会
会員総数 84名	会員総数 79名
出席免除者 5名	出席 60名
(内出席3名)	欠席 19名
出席率対象会員 82名	ゲスト 0名
そのうち 出席 57名	ビジター 0名
欠席 25名	
メイクアップ 25名	
出席率 100%	



1987年 マツダ株式会社

2005年 車両開発本部 副主査
フォードとのジョイントプロジェクト USA駐在
中国生産プログラム開発統括
スモールプラットフォーム車種開発の統括など

2016年 統合システム開発本部 主査
次世代エレクトロニクスアーキテクチャーの開発を統括

2020年 ひろしま産業振興機構 カーテクノロジー革新センター
プロジェクトマネージャーとして地場サプライヤーを支援

2023年 つくる時を楽しむシェア工房Slow & Polite開業

前回2026年4月13日例会

「環境を考える」 旦那之助会員

「環境を考える」

旦那之助

- 1) エネルギーについて
- 2) 2050年カーボンニュートラル
- 3) GX2040年ビジョンにむけて

GX2040ビジョンの概要

内閣官房GX実行推進室

2023年度の温室効果ガス排出量及び吸収量（概要）

環境省脱炭素社会移行推進室

「エネルギー政策のゆくえとと産業への影響」

一般財団法人日本エネルギー経済研究所
上級スペシャリスト 佐々木 空一氏

日本は必要なエネルギーを確保できるか？

- エネルギーの安定的確保
- 量の確保
- 質（種別）の確保
- 経済性の確保
- 温暖化対策

Safety
安全性

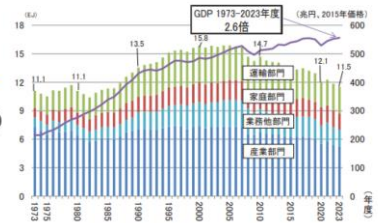
Energy Security
エネルギー安定供給

Economic Efficiency
経済効率性

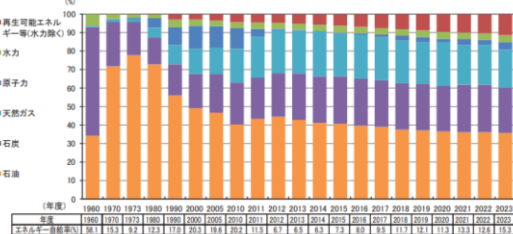
Environment
環境適合性

日本の経済とエネルギー

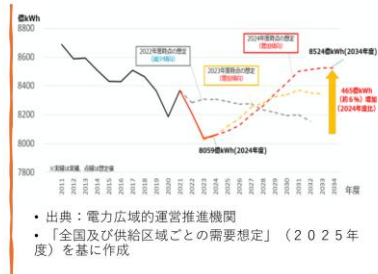
- エネルギー消費量（1973～2023年度）
- 運輸部門 1.5倍
- 家庭部門 1.7倍
- 業務他部門 1.8倍
- 産業部門 0.7倍
- 全体 = 1.0倍



日本のエネルギー国内供給構成及び自給率の推移



DXやGXなどの進展に伴う電力需要増加の可能性



第7次エネルギー基本計画の概要（2025年2月に閣議決定）

2021年の「第6次エネルギー計画」以降、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢の緊迫により、エネルギー価格が高騰し、エネルギー安全保障の重要性が高まりました。近い将来には、DXやGX（グリーン・トランスフォーメーション）が社会に広く浸透することで、電力需要が増大すると予測されます。第7次エネルギー計画は、日本を取り巻く諸々のエネルギー情勢の変化を踏まえて制定されました。

<第6次エネルギー基本計画との相違点>

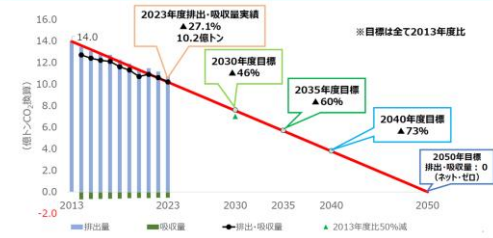
	第6次エネルギー計画	第7次エネルギー計画
策定年	2021年	2025年
目標年次（見直し）	2030年	2040年
温室効果ガス削減目標	46%削減（2013年度比）	73%削減（2013年度比）
電源構成目標	再エネ36~38%、原子力20~22%、火力41%	再エネ40~50%、原子力20%、火力30~40%
政策のポイント	非化石エネルギーの導入拡大、分散型エネルギーシステムの推進	GX推進と制度整備、エネルギー安全保障

2050年度までに
カーボン
ニュートラル
を達成する



2050年ネット・ゼロに向けた進捗

- 2023年度の我が国の温室効果ガス排出・吸収量は約10億1,700万トン（CO₂換算）となり、2022年度比4.2%減少（▲約4,490万トン）、2013年度比27.1%減少（▲約3億7,810万トン）。
- 過去最低値を記録し、2050年ネット・ゼロの実現に向けた減少・削減を加速。

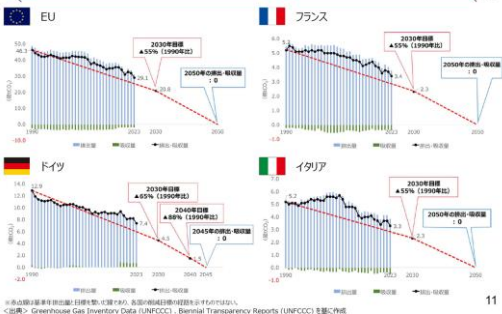


部門別のCO₂排出量の推移

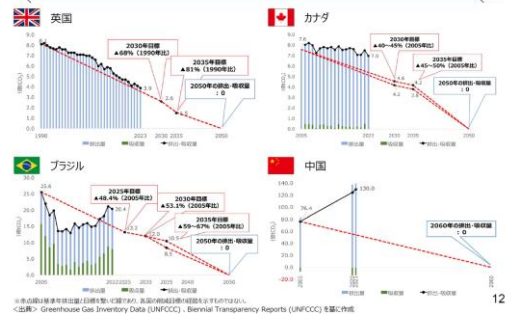
- 2022年度からのCO₂排出量の変化を部門別に見ると、産業部門は4.0%減少（▲約1,400万トン）、運輸部門は0.7%減少（▲約140万トン）、業務その他部門は6.2%減少（▲約1,090万トン）、家庭部門は6.8%減少（▲約1,080万トン）。
- エネルギー起源CO₂排出量は全ての部門で2022年度から減少。



各国の進捗



各国の進捗



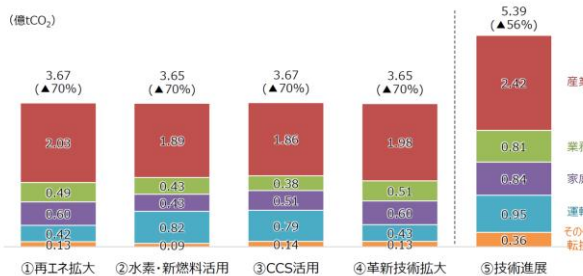
GX2040年ビジョン政策の方向性



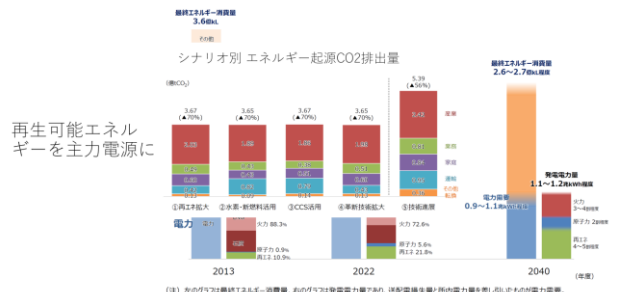
エネルギーの需給見通しの考え方

シナリオ	シナリオの概要
①再エネ拡大	既存の再エネ技術に加え、ヘロプカイト太陽電池・浮体式海上風力等の大幅なコスト低減が実現し、国内の再エネ導入量が拡大。
②水素・新燃料活用	水素等の製造コストの大幅な低減により、水素・アンモニア火力の活用とともに、非電力部門における水素・アンモニアや合成燃料・合成メタン等の活用が拡大。
③CCS活用	CO ₂ 貯留容量の拡大、CO ₂ 回収・輸送・貯留技術の大幅なコスト低減により、一定の化石燃料の利用が維持しつつ、発電や産業でのCCSの活用が拡大。
④革新技術拡大	幅広い革新技術で導入制約の克服、大幅なコスト低減等が進展。エネルギー需給の両面で様々な革新技術をバランスよく活用することにより、脱炭素化が進展。
⑤技術進展	2040年度までに革新技術の大幅なコスト低減等が十分に進まず、既存技術を中心にその導入拡大が進展。

シナリオ別 エネルギー起源CO₂排出量



エネルギー需給の見通し（イメージ）



発電コスト比較 (2023)



次世代エネルギーの利用拡大

第7次エネルギー基本計画では、水素、アンモニア、合成メタン、バイオ燃料などの次世代エネルギーの活用が不可欠とされています。

グリーン水素再生エネルギーを水素として貯めるメタネーションCO₂リサイクルでメタンを作る

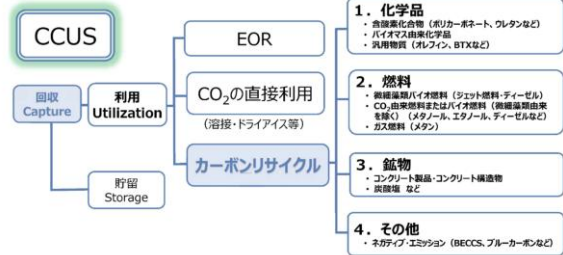
部門名	想定する主要な技術
再生	<ul style="list-style-type: none"> 日本国内では太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス発電設備の導入を想定。 電産への導入可能上用途、自動車・電産・工業利用等に関するCO₂発生先に着目して反映。 従来の設備への導入促進を図る。変動性再生電源の導入による供給力不足を考慮。
原子力	<ul style="list-style-type: none"> 社会的制約の軽減、発電量を確保。
火力	<ul style="list-style-type: none"> 石炭火力、石油火力、ガス火力について、それぞれ高効率設備、CO₂回収設備の導入を想定。 各技術について、経済的な設備費の削減、発電効率の向上を優先。 水素・アンモニアの供給・供給設備の確保 (石炭火力についてはバイオガス・アンモニア混焼、ガス火力については水素混焼を前提とする)。
水素等	<ul style="list-style-type: none"> 水素製造は石炭ガス化、ガス改質、バイオガス化、水電解の導入を想定。製造時のCO₂回収を併せて実施。 合成メタン・合成燃料製造プロセスを想定。合成メタンの原料は、バイオガス、DAC、化石燃料由来のCO₂を想定。 各技術について、経済的な設備コストの削減やエネルギー効率の向上を優先。
その他	<ul style="list-style-type: none"> バイオ燃料の製造プロセスを想定。 農産物、廃材、廃棄物、資源の効率的な回収やバイオガス・バイオエタノール・バイオメタノールを原料とした貯蔵メタンを想定。CO₂の海外移転も考慮。

合成メタンとは？

メタネーションとは、水素とCO₂から都市ガス原料の主成分であるメタンを合成することを言います。合成時に用いられる水素を再生可能エネルギー(太陽光発電の余剰電力を水電解して得たグリーン水素等)を使用している場合は、合成メタン燃焼時に排出されるCO₂が合成時に回収されたCO₂がオフセット(相殺)されるため、大気中のCO₂は増加しないという、カーボンニュートラルの考え方が適用されます。



CCS、CCUとは？

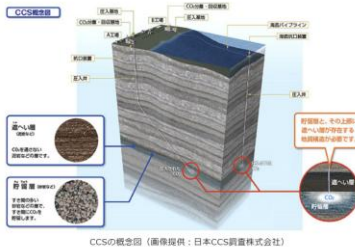


CCS/カーボンリサイクル概念図 (出典：経済産業省ホームページ)

苫小牧におけるCCS大規模実証試験

苫小牧では、日本初となるCCSの大規模実証試験 (CO₂の分離・回収、圧入、貯留、モニタリング) が国家プロジェクトとして実施されています。

2012年度から2015年度は、実証試験設備の設計・建設・試運転等が行われ、2016年度から地中へのCO₂圧入が開始されました。2019年11月22日には、目標である累計30万トンのCO₂圧入が達成され、現在は圧入を停止しモニタリングが行われています。



CCSの概念図 (画像提供：日本CCS調査株式会社)

国内CCSの現況

2030年までの事業開始を目標とする9案件を「先進的CCS事業」として採択。この中で10か所の火力発電所でのCO₂分離回収の設計等の支援を実施。CO₂の輸送方法については、パイプラインと船舶のいずれも想定されている。

先進的CCS事業で支援する貯留地CO₂排出者



排出量取引制度



化石燃料賦課金

化石燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量に応じた金額を賦課するもの。

化石燃料の輸入事業者等に支払われ、転嫁を通じて社会全体で、化石燃料の使用に伴うコストを負担。

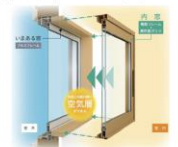
化石燃料の需要者に対して、排出量取引よりも広範囲に行動変容を促すことが可能。

まとめ

- 2040年には (目標)
 - 温室効果ガス削減：73%削減
 - 電源構成：再生エネルギー45%、原子力20%、火力35%
- エネルギー安全保障の観点からも再生エネルギー導入は進む
- CCS、化石燃料賦課金導入により電力コストはあがる
- エネルギーの効率化を考える。

家庭でできること

断熱改修による省エネ



省エネ設備の導入



太陽光・蓄電池の導入



「家庭」を「会社」に置き換えてできる対策を

4月13日例会20,000円 累計960,000円

ニコニコ箱・ペコペコ箱

- 冨部秀司**:3月度、マージャン大会、久しぶりに優勝出来ました。事務局の長町さんに調べてもらったところ、約一年半(17か月)ぶりの優勝との事。学生時代からマージャンには、少々自信があっただけに、また、東南ロータリーの遊び人の称号を田上会員から受け継いでいたくらいですから、これだけ長く勝てないのは、残念な思いで、年には勝てないと感じていた矢先でした。ひと安心、ホッとしています。(10口)
 - 天野國幹**:帰って来ました。今回はホルムズ海峡閉鎖等があり、予定していたフライト12件中6件がキャンセルになり少し大変でした。南極にも行きました。またよろしく願います。(5口)
 - 要田昭治**:ご報告いたします。被爆樹木「ムクノキ」のヴァイオリンをヴァイオリニスト白井朝香さんがイタリア、スペインの演奏旅行に4月1日から29日までの予定です。ミラノ市庁舎での演奏には松井市長からのメッセージをお預かりいたしました。6月1日の例会で帰朝報告いたします。(1口)
 - 伊藤正樹**:名人戦で藤井聡太名人に挑戦している糸谷哲郎8段は、私の広島学院中学・高校で一緒にサッカー部で過ごした糸谷君の息子です。応援の意味で2口。なお学院に宮島から通学していたそうですが、たしか林亮介会員の従兄弟だったと思います。学院関係者の方も応援願います。(2口)
- とぼっち:広島学院出身○大井克元(1口)○中村伸弘(1口)

2025-26年度ロータリー財団寄付金 認証者(4月現在)

ロータリー財団に米 \$ 1,000以上の寄付をされた方はポールハリスフェローとして認証されます。その後、US \$ 1,000ごとにマルチプル・ポールハリスフェロー(○回目)として認証されます。

○マルチプル・ポールハリスフェロー(3回目)

大井克元会員
山仲 巖会員

○マルチプル・ポールハリスフェロー(1回目)

角田由貴子会員
天野國幹会員

○マルチプル・ポールハリスフェロー(2回目)

守下康弘会員
上田康博会員
井原倫子会員
衣笠准一会員

○ポールハリスフェロー

平岡誠治会員
瀧川洋一会員
旦壮之助会員

他クラブ例会変更・休会情報(受付12:00~12:30)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 4/23(木) 広島北RC(グランヴィア) | 4/30(木) 広島安佐RC(リーガ) |
| 4/23(木) 広島安佐RC(リーガ) | 5/ 1(金) 広島南RC(リーガ) |
| 4/27(月) 広島中央RC(リーガ) | 5/ 1(金) 広島城南RC(シェラトン) |
| 4/28(火) 広島西南RC(ANAクラウン) | 5/ 7(木) 広島北RC(グランヴィア) |
| 4/28(火) 広島安芸RC(グランヴィア) | 5/ 7(木) 広島西RC(ANAクラウン) |
| 4/30(木) 広島北RC(グランヴィア) | 5/ 7(木) 広島安佐RC(リーガ) |
| 4/30(木) 広島西RC(ANAクラウン) | 5/ 8(金) 広島城南RC(シェラトン) |

5月は「青少年奉仕月間」です

日付	例会・プログラム	クラブ行事他	委員会活動	同好会
1-	4/ 休会 (みどりの日)		2/ ローターアクト奉仕デー at MAZDAスタジアム	2/ガバナー杯 (予備日)
10-	11/ 第2994回例会 「青少年月間に因んだ話」 青少年奉仕担当リーダー 林 亮介会員	11/ 定例理事役員会	11/ 100万ドル食事 ポリオ寄付	
20-	18/ 第2995回例会 「広島交響楽団に因んだ話」 広島交響楽団 理事長 妹尾雅雄様	18/ 次年度理事役員会 18/ 本・次年度合同 クラブアッセンブリー	5/16 ひろしま美術館北側 PHRC記念樹付近清掃	
31-	25/ 第2996回例会 「姉妹クラブに因んだ話」 守下康弘会員・瀧川洋一会員	25/ ガバナーエレクトを 囲む会		